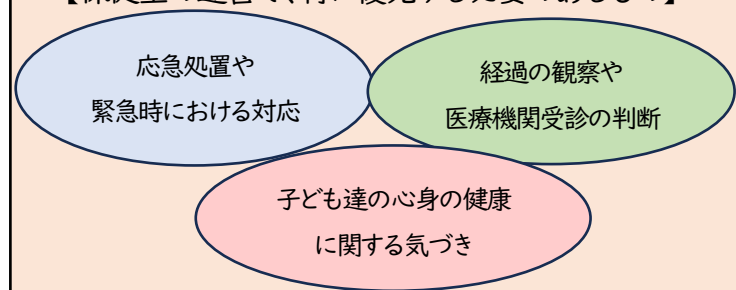


保健室について

近年、保健室に求められる役割として、学校内の体制における「中核的な役割」や「センター的役割」といった表現がよく使われるようになってきました。実際、保健室の業務は多岐にわたります。また、保健室はほとんどの学校で一つしかなく、怪我や体調不良、緊急時の対応など、毎日何が起こるかわからない中で、予定を立てにくい状況があります。そのような中で、保健室に求められる「センター的役割」を担うためには、余裕のある安定した保健室である必要があります。本校の保健室運営では、一部の子ども達だけでなく、全校児童の誰もが必要な時に入りやすい保健室であることを目指しています。

【保健室の運営で、特に優先する必要があるもの】



様々な保健室の役割の中でも、特に優先すべきことがあります。それは、子ども達の心身の健康や安全に関することです。

このことを遵守するために、本校の保健室運営では大きく二つのことを大切にしています。一つ目は「来室者が過度にならないようにすること」、二つ目は「学年担任や関係職員との連携」です。

一つ目の「来室者が過度にならないようにする」というのは、もちろん保健室へ来てはいけないということではありません。むしろその逆で、子ども達が必要な時に、誰でも入りやすい保健室であるためのものです。子ども達の中には用事がなくても休み時間などを保健室で過ごしたいと言う子もいますし、私自身も子ども達とのコミュニケーションは何よりも大切にしたいと思っています。ただ、常にたくさんの方がいる保健室は、一部の子ども達にとって良くて、怪我や体調不良の子ども達への対応に支障がでたり、気持ちに不安のある子が保健室に入ることを躊躇したりすることもあるかもしれません。そのため、保健室は「原則、用事のある時に来る場所」とし、来室者が過度にならないようにすることで、上記の図にあるような、保健室にしかできないことを優先したいと考えています。

二つ目は「学年担任や関係職員との連携」です。学年担任の周りにはいつもたくさんの子どものいるため、場合によっては少し落ち着いて話のしやすい保健室が、子ども達の困りごとや不安を解決する最初の糸口になることもあります。しかし、当たり前ですが、学校生活の中において一番近くで子ども達を見守り、支えているのは学年担任です。最初のきっかけは保健室であったとしても、その後の対応は原則学年担任が行うことが、子ども達のより良い支援につながると考えます。状況にもよりますが、保健室での情報は、なるべく子ども達の意思を尊重したうえで、様々な職員と共有し、一緒に子ども達の抱える困りごとに寄り添ったり、不安につながる要因を考えたりしています。このことは、一つ目の「来室者が過度になり過ぎないようにすること」にもつながります。このように本校の保健室では、学年担任や教科担当、なかよし班担当教員、SC など、子ども達に関わるたくさんの職員の理解や協力を得ながら、子ども達を支えています。また、この関係職員との連携は、子ども達の支援を考えるにあたり欠かせないものです。子ども達の支援を考えるためには、問題の本質を理解する必要があります。保健室からみえる一面と、学年担任や他の職員からみえる一面では、少し異なる子ども達の様子や課題がみえることがあります。それぞれが子ども達の一面だけをみるのではなく、様々な立場の人が情報を共有することで、子ども達が今どのような状況で、どのような気持ちでいるのか。それだけではなく、子ども達の少し先の将来を見据えた支援を考えていければと思っています。

右の表は、年間の保健室来室記録をもとに保健室の来室理由や人数を表したものです。一日平均27名、一番多い日は67名の来室がありました。これは怪我と体調不良のみの人数です。「保健室にしかできないことを優先」としつつ、それでも来室は多い状況です。だからこそ、学年担任等と連携しながら、来室が多くなり過ぎないように心掛ける必要があると感じています。

【保健室来室人数】													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
怪我	270	335	349	113	14	368	282	358	227	229	258	214	3017
体調	96	107	173	119	12	239	134	196	100	49	91	101	1417
計	336	442	522	232	26	607	416	554	327	278	335	315	4434

「保健室は何かあれば行くけれど、不安なことがなければあまり行かない」という子ども達も多いです。「少し前まで毎日のように来ていたのに、最近、あの子の顔をあまり見ないな」という時は、安心して本来自分の居場所である教室や友達のもとにいられる良い状態のようです。保健室は、「怪我をした時、困った時、必要な時」に一時的に立ち寄り、子ども達にとって『雨宿り』のような場所なのかもしれません。

冒頭の通り、本校の保健室では、学校内におけるセンター的役割を担うため、安定した運営を目指しています。その運営上、中には「もっと保健室にいたいのに」と思う子ども達もいるかもしれません。しかし、長い時間を保健室で過ごすことが、子ども達の良い支援につながるわけでもありません。その時の児童の状態や状況にあわせ、保健室以外にも安心できる場所や人との関わりを増やしていくことが必要な時もあります。

保護者の皆様におかれましては、学校という、ご家庭から見えない場所での子ども達の様子に、時にはご心配・ご不安になるようなこともあるかもしれません。そのような時には是非、学校までお知らせください。学校と保護者の皆様が一緒に、子ども達のより良い成長につながる支援について考えていければと思っています。今後とも、保健室の運営につきましてご理解とご協力をお願いいたします。

<7月の行事予定>

日	曜	7月の行事予定	9月の主な行事予定
1	水		1 日 (火) 給食開始
2	木		2 日 (水) 教育実習開始
3	金	給食終了	8 日 (火) クラブ活動①
4	土		15 日 (火) クラブ活動②
5	日		24 日 (木) 保護者アンケート配布
6	月	12:00 下校	29 日 (火) クラブ活動③
7	火	12:00 下校	30 日 (水) 教育実習終了
8	水		
9	木		
10	金		
11	土		
12	日		
13	月		
14	火		
15	水		
16	木		
17	金		
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		